

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

数学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 研究を行う上で必要となる現代数学の基礎的な学力
- ・ 専門分野における基礎文献を読み込み内容を把握できる力
- ・ 文献を読んで理解した数学的内容を自分の言葉で再構成して発表することのできる力
- ・ 新たに得た数学的知見を、学術論文の形式でまとめる力

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- 専攻分野にかかわらず修得しておくことが望ましい重要な理論や概念を身につける
- 専攻分野において、研究を進める上で必要となる理論や計算方法を身につける
- 数理ファイナンスの理論が実務の場でどのように表われ扱われているかを学修する
- 現在活発に研究されているトピックについて、問題の背景と研究の現状を理解・把握する
- 専門分野における基礎文献（テキストまたは学術論文）を読み込み、理解した内容を自分の言葉で再構成すること。そしてそれらをセミナーにおいて講義形式で発表し、質疑応答を行う
- 数学講究および数学特別研究において学んだ理論や概念および新たに得た数学的知見を、学術論文の形式でまとめる
- 理工系学生の身に付けるべき教養として、人文学・社会科学及び、文理融合科目を学ぶ
- 社会や職業・キャリアとの関わりを意識し、産業界等で活躍するために必要な能力を修得する

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

数学系では、数学への知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- ・ 数学の根本への探究心を有している
- ・ 数学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している
- ・ 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・ 数学課程で必要となる基礎的な語学力を有している

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

数学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、数学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。